



じょうかんすいせきしゅつど きょく
上罐子遺跡出土の漁具



弥生の時代に新たに
始められた米作りの
ほかに、木の実を
とったり、川や海で
魚をとったりと
食生活も豊かに
なっていたんだよ。
上罐子遺跡からは魚を
とるための道具も
たくさん発見されているよ。



やよい うつわ
弥生の器にふれる

のやつく
野焼きで作られ
た土器はシンプ
ルな形で機能性
が高いものだっ
たんだ。日常の
くらしだけでなく、まつり
のときには赤
くぬって使われたんだよ。

こんな食卓だったのかな？



とのお、むかし やよい いとしま ち あたら ぶんか
遠い昔 弥生の糸島... 私達はここに新しい文化をもたらした海を見つめる。



うみ わた き とらいじん ひとびと
海を渡って来た渡来人の人々は
糸島へいろんな、技術や
文化を伝えたんだ。



みくもみなみしょうじいせき しゅつど
三雲南小路遺跡 出土の
ガラス勾玉



まがたま
勾玉をつけてみました。

てつ せいどうき とらい
鉄や青銅器なども渡来
人の伝えたもので、き
れいなガラスのアクセ
サリーなどもおしえて
もらって作ったんだ。

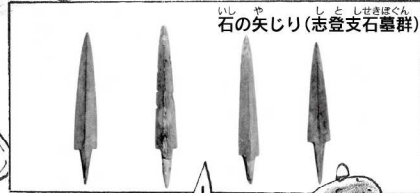


しままち くめいせき しゅつど どうけん どうが
志摩町 久米遺跡 出土の銅剣と銅戈



伊都国へつながる戦い

小さなムラどうして土地や水、収穫された作物を
うばいあう争いもおこったんだ。



石の矢じり(志登支石墓群)

戦士の服

勝ち残ったムラは、力をたくわえ、
さらに大きなムラへと
発展していったよ。
ムラでは、「かしら」と呼ば
れるムラの中心となる
ものが、あらわれて
人々を指揮したり
ほかのムラもしたがえ
はじめたんだ。



丸木を
くりぬいた
だけの防具



三雲南小路遺跡の甕棺



志摩町 新町遺跡の戦死者
石の矢がささって亡くなった
人です。



戦いは、ムラの成長と
発展に必要なだったかも
しれない。
でも、
ムラの人々の
体や心に
大きな傷を与え
たんだ。
ムラの「かしら」たちは
戦いばかりではなく、
話し合うことで
争いをおさめることも
多かったんじゃないかな。



上籾子遺跡の農具



臼(上籾子遺跡)

バリエーション豊かな農具が
いろいろ出てきたよ。
作業が、とっても
便利に
なったよ。

こんなふうにお米をついて
いたんだよ。

ちょっと
おもちつき
みたいだね。

ソウ
ンデスネー



弥生の糸島はこんな感じだったのかな？
まだ、高い建物はみあたらないみたいだね。

豊作をねがうために
行われたムラのまつりでは
楽器の演奏や歌も歌われ
にぎやかにもよおされて
いたんだろね。
笛は、今のオカリナの
形に似ているね。



お米の他に、くだものや木の実、お酒もあって
イノシシや魚もよく食べられていたよ。